

計画の名称	広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり（第2期）													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	福岡県, 久留米市													
計画の目標	久留米広域連携中枢都市圏の中心である久留米市の玄関口であるJR久留米駅前において、都市機能の集積や街なか居住の促進に取り組み、ネットワーク型のコンパクトな市街地の形成及び中心市街地の活性化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		10,098	A	10,098	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		R8末
1	中心市街地居住人口比率			
	中心市街地居住人口比率：久留米市全体の人口に対する中心市街地居住人口の割合 （中心市街地居住人口比率）＝（中心市街地地区居住人口）／（久留米市人口）	50%	%	57%
2	拠点機能の向上			
	拠点機能の向上：施行地区における、公開空地やオープンスペース等、帰宅困難者等の一時避難場所に利活用できる敷地割合 （拠点機能の向上）＝（公開空地、オープンスペース等）／（施工地区面積）	356%	%	473%
3	JR久留米駅周辺地価の伸び率			
	JR久留米駅周辺地価の伸び率：駅から半径500m以内の地価平均伸び率の値〔伸び率とは、事業開始前の時点から事業完了時点の伸び率〕 （伸び率）＝（令和7年値）／（H29年値）	1000%	%	1322%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	福岡県	間接	J R久留米 駅前第二街区市街地再 開発組合	－	－	J R久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	市街地再開発 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市	■	■	■	■	■	4,414	1.03	－
	A16-002	住宅	一般	久留米市	間接	J R久留米 駅前第二街区市街地再 開発組合	－	－	J R久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	市街地再開発 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市	■	■	■	■	■	4,414	1.03	－
	A16-003	住宅	一般	福岡県	間接	J R久留米 駅前第二街区市街地再 開発組合	－	－	J R久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	防省緊（地域活性化タイプ） 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市		■	■	■	■	635		－
	A16-004	住宅	一般	久留米市	間接	J R久留米 駅前第二街区市街地再 開発組合	－	－	J R久留米駅前第二街区 第一種市街地再開発事業	防省緊（地域活性化タイプ） 店舗、住宅、業務、駐車場等 1.3ha	久留米市		■	■	■	■	635		－
											小計						10,098		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						10,098		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06	R07	
配分額 (a)	0	635	663	0	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	0	635	663	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	405	
支払済額 (e)	0	635	258	405	
翌年度繰越額 (f)	0	0	405	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

全体事業費や事業実施期間は計画期間内における数字であるため、必ずしもそれぞれの事業箇所全体の数字と一致しない。
また、予算確保の状況や用地買収の進捗などによる変更が生じるため、整備計画は随時見直しを行っている

事前評価チェックシート

計画の名称： 広域的な玄関口としてふさわしい賑わいと魅力あるまちづくり（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等 1) 上位計画等と適合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 1) 整備計画の目標と指標と定量的指標との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と事業内容の整合性等 3) 整備計画の目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 1) 整備計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境 2) 整備計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥地元の機運 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥地元の機運 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○